

はじめに

PROGRESS IN ENGLISH 21 は Book 3 まで勉強しただけで、英語を話す上で必要十分な文法と 3,000 語もの語いを身につけることができます。しかし、実際には TEXT を一通りやっただけではこれらすべてを自分のものにするには簡単なことではありません。Word Workout for PROGRESS IN ENGLISH 21 は、授業で習ったポイントをもう一度みなさんが体系的に整理しながら習得していくために、次の点に気をつけて作られています。

- ① 各章の問題の配列を学習したものの順に並べました。習ったものから順番に解けるようになっていきますので、授業の進度に応じて進めていくことができます。
- ② 問題文を TEXT にある文で作成しました。これは大切な語句や文法を覚えるときに、それらが TEXT で使われていた文脈も再確認することが大切だからです。
- ③ 各問題に簡単な解説をつけました。間違ったときはそれをよく読んで確認してください。
- ④ 大切なポイントや、間違いやすいところを整理するのに役立つ「チェックポイント」を関連ある問題の近くに設けました。

外国語を習得することは、スポーツの技能や楽器の演奏を習得することに似ています。毎日練習を重ねて、少しずつステップアップしていきましょう！

最後に、本書の作成に際して助言をくださった先生方、膨大な資料をこつこつ整理してくださったエデック編集部の方々はこの場を借りてお礼申し上げます。

編者記す

Word Workout 構成

本書は 6 つの Part (Part 1 「文法」、Part 2 「語法」、Part 3 「イディオム」、Part 4 「会話表現」、Part 5 「単語・語い」、Part 6 「アクセント・発音」) で構成されています。各 Part では内容に応じて、さらに細かい章に分類されています。(CONTENTS を参照。)

□ 問題について

● 問題文

基本的に PROGRESS IN ENGLISH 21 Book 1~3 より英文を抜粋し、問題文が作成されています。

ただし表現などを多少変更したり、英文を補足したものもあります。

また TEXT より英文を抜粋せず、本書用に新たに問題文が作成されている場合もあります。

● 問題文出典表記について

PROGRESS IN ENGLISH 21 の本文より問題文を抜粋しているものは、右ページの解説横に出典箇所を表記しています。

<例>

[B2 L12 p.140 L] ← Book 2, Lesson 12, 140 ページの Look より抜粋

☆ページ表記の後の略語の意味は、次の通りです。

Sc = Scene の会話 L = Look C = Check S = Speak P = Practice

R = Read RC = Reading Check Ln = Listen

● 問題の出典順

各章では、“BOOK 1, 2” “BOOK 3” で問題が分けられています。

それぞれの学年に応じて対応できる問題をわかりやすく示しています。

BOOK 1 2 … Book 2 までの学習で解ける問題

BOOK 3 … Book 3 までの学習で解ける問題

さらに問題番号の下に **B2 L13** という表示があります。

これは Book 2, Lesson 13 まで学習すれば、この問題を解くのに必要なことはすべて習っているという意味です。問題順は、TEXT でのこの習得順に対応しています。

●問題の答え方

設問指示文はつけていませんので、以下の要領で答えてください。

- ① **空所補充選択** 空所に適切な選択肢の語句を入れます。
 - ② **同意語句選択** 英文の下線部と同じ意味の表現を選択肢から選びます。
 - ③ **不適語句選択 (①～④)**
空所に当てはまらない、もしくは英文の下線部と同意にはならない、不適切な語句を選択肢から選びます。この問題は選択肢の番号を黒丸数字で表わしています。
 - ④ **空所補充** 空所に適切な語を入れます。空所にアルファベットが与えられている場合は、その文字で始まる語で答えます。
 - ⑤ **同意語句** 英文の下線部と同じ意味の語句を答えます。
 - ⑥ **語句整序** 英文の()内に複数の語句がある場合は、語句を並べかえて正しい英文を作ります。
 - ⑦ **連立完成** (a)(b) もしくは (a)(b)(c) の英文がほぼ同意になるように、空所に適語を入れます。空所にアルファベットが与えられている場合は、その文字で始まる語で答えます。
 - ⑧ **適語補充** 日本文が与えられて英文に空所がある場合は、日本文の意味になるよう空所に適語を入れます。空所にアルファベットが与えられている場合は、その文字で始まる語で答えます。
- ◆**自動詞・他動詞** 英文の下線部の日本語訳を選択肢から選びます。
- ◆**多義語** 与えられた2文の空所に、共通な適語を入れます。
- ◆**反意語** 以下2種類の問題パターンがあります。
- ① 英文の下線部の反意語を答えます。
 - ② 英文の下線部の反意語を選択肢から選びます。
- ※①, ② 共に、同一文中に下線部の語句の反意語が含まれる場合、その箇所は空所で表わされています。
- ◆**同音異義語** 1), 2) の空所に入る、同じ発音でつづりと意味が異なる語をそれぞれ答えます。

□解答・解説について

●解答

左ページの問題の解答は右ページの下にあります。

なお原則として、スラッシュ (/) は「どちらでもよい」ということ、[] は「省略ができる」ことを表わしています。

●解説

それぞれの問題に簡単な解説をつけています。大切なポイントは赤字になっているので、付属のチェックシートを使って覚えましょう。

“☞” は解説内で参照となる補足説明や事例を表わしています。

☆品詞名は、次のように略語を用いて示しました。

(名) = 名詞 (代) = 代名詞

(動) = 動詞 (自) = 自動詞 (他) = 他動詞

(形) = 形容詞 (副) = 副詞 (前) = 前置詞

(接) = 接続詞 (助) = 助動詞

●日本語訳

問題文の日本語訳が左ページの下にあります。

言葉は意味が大切ですから、問題を解くときに機械的に答えず、文の意味をよく考えましょう。

□チェックポイントについて

大切なポイントや間違いやすいところをわかりやすく端的にまとめたチェックポイントを、関連ある問題の近くにいくつか設けています。

内容に応じ、PROGRESS IN ENGLISH 21 での掲載箇所を表記しています。

<例>

[B2 L3 p.28, B2 L6 p.64]

↑ Book 2, Lesson 3, 28 ページ と Book 2, Lesson 6, 64 ページで習う内容

- Part 1: 文法
- Part 2: 語法
- Part 3: イディオム
- Part 4: 会話表現
- Part 5: 単語・語い
- Part 6: アクセント・発音

6つの Part で構成されています。

解説
それぞれの問題に簡単な解説をつけています。

章
各 Part の中では、内容に応じてさらに細かい章に分類されています。

第 **15** 章 **否定・強調**

BOOK 1 2

233 Tom and Mary are trying to find Easter eggs. Mary looks and looks but can't find ().
B2 L1 ① some ② any ③ anything ④ a few

234 Oh my! () beautiful roses! Thank you so much, Tom!
B2 L2 ① How ② How a ③ What ④ What a

235 晴れた日には双眼鏡を使うことすらなく、あなた自身の目で30マイル離れた船を見ることができます！
B2 L14 On a clear day you can see ships which are 30 miles away with your () eyes, even without using binoculars!

BOOK 3

236 Cheetahs are not good hunters. They are not () successful.
B3 L10 ① always ② only ③ almost ④ shortly

237 He doesn't know the meaning of many words and can't pronounce them, ().
B3 L13 ① too ② either ③ neither ④ nor

233 トムとメアリーはイースターの卵を見つけようとしています。メアリーは何度も見回りますが、1つも見つけることができません。

234 まあ！ なんてきれいなバラ！ どうもありがとう、トム！

236 チーターはあまり狩りが上手ではありません。いつも成功するとは限りません。

237 彼は多くの単語の意味もわからず、発音もできません。

74

チェックボックス

問題文

問題文のほとんどは、TEXTにある文で作成されています。

Book 2, Lesson 14

まで学習すれば、選択肢を含めてこの問題を解くのに必要なことはすべて習っていることを意味します。

BOOK 1, 2
BOOK 3

それぞれの学年に応じて対応できる問題を、わかりやすく示しています。

日本語訳

▶ 第15章 否定・強調

- 233 **not any** 「1つも～ない」
肯定文での **some** は、否定文では **any** になる。この文脈では any eggs を指す代名詞。
- 234 感嘆文
感嘆文は **How + 形容詞 / 副詞 [+ SV]**、または **What (a/an) + 形容詞 + 名詞 [+ SV]** という語順で、最後に「！」をつける。What の後の名詞が複数の場合、不定冠詞は不要である。
- 235 所有格の強調用法
所有格を強調するには、所有格 + **own** + 名詞を使う。
- 236 **not always** 「いつも～とは限らない」
部分否定を表わす。
☞ 左の文を全体否定にすると、They are **never** successful. 「彼らは決して成功しない。」となる。
- 237 否定文, **either**. 「～も…でない」
「～も…でない」という否定文の場合は、文末が “..., **either**.” となるが、「～もまた…である。」という肯定文の場合は、“..., **too**.” となる。

Part 1
文法

問題文出典表記

問題文はTEXTのこのページから取っています。

チェックポイント 22 部分否定と全体否定 B3 L9 p.100

部分否定
not (...), **not (...)**, **every** 「すべてが～というわけではない」
All cows are animals, but *not all* animals are cows.
「すべての牛は動物ですが、すべての動物が牛だというわけではありません。」
Not everyone understood what the teacher said.
「先生が言ったことをだれもが理解したわけではありませんでした。」

全体否定
no + 名詞, **not ... any**, **none** 「どれも～でない」
No one seemed to know the answer. 「だれも答がわかっていないようでした。」 [B2 L12 p.136 Look]
I want some ice cream, but I *don't* want *any* coffee.
「アイスクリームは欲しいけれど、コーヒーは少しも欲しくありません。」 [B1 L14 p.125 Check]
None of the students had their homework on their desks.
「宿題を机に出している生徒はだれもいませんでした。」 [B3 L14 p.170 Look]

チェックポイント

大切なポイントや間違いやすいところを、わかりやすく端的にまとめています。

ポイント出典表記

このポイントをTEXTのどこで習ったかを表記しています。

解答

233 ② any 234 ③ What 235 own 236 ① always 237 ② either

❖日本語訳や解答、解説のポイントとなる箇所は、付属のチェックシートを使えば隠れるようになっています。

Part 1 文法

第1章	時制	2
第2章	態	8
第3章	助動詞	10
第4章	仮定法	16
第5章	不定詞	20
第6章	動名詞	24
第7章	分詞	28
第8章	比較	32
第9章	代名詞	38
第10章	関係詞	46
第11章	接続詞	52
第12章	前置詞	58
第13章	主語と動詞の一致	66
第14章	疑問文と語順	70
第15章	否定・強調	74
第16章	時制の一致と話法	76

Part 2 語法

第17章	動詞の語法	80
	◇動詞の語法	80
	◇自動詞・他動詞	102
第18章	形容詞・副詞の語法	110
第19章	名詞の語法	122

Part 3 イディオム

第20章	動詞を含むイディオム	130
第21章	形容詞・副詞を含むイディオム	148
第22章	名詞を含むイディオム	154
第23章	前置詞の働きをするイディオム	160

Part 4 会話表現

第24章	会話表現	164
------	------	-----

Part 5 単語・語い

第25章	注意すべき語い	188
第26章	多義語	218
第27章	類義語	234
第28章	反意語	254
	◇反意語	254
	◇接頭辞を加えるもの	270
	◇男性と女性	272
✦一覧表：類義語		274
	反意語	286
	派生語	292

Part 6 アクセント・発音

第29章	アクセント	302
	▽アクセントの規則	302
	▽アクセントに注意すべき単語	304
	① 2音節の単語	304
	② 3音節の単語	307
	③ 4音節の単語	310
	④ 5音節の単語	311
第30章	発音	312
	▽発音に注意すべき単語	312
	① 母音	312
	② 子音	324
	③ 黙字	328
	④ silent e	330
	⑤ 同綴異音語	332
第31章	同音異義語	334
✦一覧表：同音異義語		350

索引		352
----	--	-----

●●● チェックポイント ●●●

1 原則として進行形にしない動詞	4	33 say / tell / speak / talk の違い	100
2 by 以外の前置詞をとる受動態の表現	9	34 S + V + O + to-v の形をとれない注意すべき動詞	101
3 助動詞の用法	14	35 補語として用いられ、名詞を修飾できない形容詞	114
4 助動詞 + have + 過去分詞の用法	15	36 「できる / できない」を表わす表現	115
5 wish + 仮定法	18	37 many / much / few / little の使い方	118
6 仮定法過去と仮定法過去完了	18	38 感情表現の他動詞から生じた分詞形容詞	120
7 独立不定詞	23	39 複数形になると意味が変わる名詞	123
8 S + V + O + v-ing / v-ed の形で用いる動詞	31	40 不可算名詞	127
9 慣用的な分詞構文	30	41 「客」を表わすさまざまな名詞	197
10 比較級の強調表現	33	42 「貸す」「借りる」を表わす動詞	198
11 最上級の意味を表わす原級・比較級表現	37	43 「仕事」を表わすさまざまな名詞	250
12 人称代名詞	40		
13 再帰代名詞	41		
14 other の使い方	44		
15 most, almost の使い方	45		
16 関係代名詞の格変化	48		
17 場所を表わす in / at の使い分け	58		
18 時を表わす in / on / at の使い分け	59		
19 take A by the + 体の部分	63		
20 相関接続詞を用いたときの主語と動詞の一致	68		
21 形は複数形でも単数扱いする表現	68		
22 部分否定と全体否定	75		
23 不定詞を目的語にとる動詞	81		
24 自動詞 rise と他動詞 raise の区別	83		
25 動名詞を目的語にとる動詞	85		
26 間違っって前置詞をつけがちな他動詞	86		
27 前置詞を落としがちな自動詞	87		
28 S + V + O + to-v の形をとる動詞	88		
29 S + V + A + 前置詞 + B の形をとる動詞	89		
30 S + V + O + v (原形) の形をとる動詞	90		
31 動詞 help がとるパターン	91		
32 自動詞 lie と他動詞 lay の区別	99		